

2021年2月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年4月12日

上場会社名 株式会社ナルミヤ・インターナショナル 上場取引所 東
 コード番号 9275 URL <https://www.narumiya-net.co.jp/ir/>
 代表者 (役職名) 代表取締役執行役員社長 (氏名) 石井 稔晃
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員専務 CFO兼人 (氏名) 上田 千秋 TEL 03-6430-3405
 定時株主総会開催予定日 2021年5月25日 配当支払開始予定日 2021年5月26日
 有価証券報告書提出予定日 2021年5月26日
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：有

(百万円未満切捨て)

1. 2021年2月期の連結業績（2020年3月1日～2021年2月28日）

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年2月期	29,511	△10.5	1,037	△37.7	1,006	△38.0	396	△60.3
2020年2月期	32,962	—	1,664	—	1,622	—	999	—

(注) 包括利益 2021年2月期 416百万円 (△59.9%) 2020年2月期 1,038百万円 (—%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年2月期	39.19	—	9.1	6.7	3.5
2020年2月期	99.29	—	23.0	10.6	5.1

(参考) 持分法投資損益 2021年2月期 ー百万円 2020年2月期 ー百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年2月期	14,636	4,407	30.1	435.40
2020年2月期	15,310	4,335	28.3	428.24

(参考) 自己資本 2021年2月期 4,407百万円 2020年2月期 4,335百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年2月期	1,042	△354	△1,345	1,831
2020年2月期	2,319	△822	△856	2,488

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年2月期	—	0.00	—	34.00	34.00	344	34.2	7.9
2021年2月期	—	0.00	—	31.00	31.00	313	79.1	7.2
2022年2月期(予想)	—	0.00	—	31.00	31.00		31.3	

3. 2022年2月期の連結業績予想（2021年3月1日～2022年2月28日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	34,500	16.9	1,720	65.9	1,682	67.2	1,002	152.6	98.99

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
新規 1社（社名）株式会社LOVST、除外 1社（社名）－

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
② ①以外の会計方針の変更：無
③ 会計上の見積りの変更：無
④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数

2021年2月期	10,122,830株	2020年2月期	10,122,830株
2021年2月期	34株	2020年2月期	－株
2021年2月期	10,122,827株	2020年2月期	10,060,821株

(参考) 個別業績の概要

1. 2021年2月期の個別業績（2020年3月1日～2021年2月28日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年2月期	28,436	△11.3	998	△41.1	973	△41.5	391	△62.5
2020年2月期	32,044	7.9	1,694	4.2	1,665	10.6	1,044	△42.0

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2021年2月期	38.69	－
2020年2月期	103.86	－

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
2021年2月期	14,425		4,418		30.6		436.48	
2020年2月期	15,193		4,360		28.7		430.73	

(参考) 自己資本 2021年2月期 4,418百万円 2020年2月期 4,360百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 連結貸借対照表	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	6
連結損益計算書	6
連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(セグメント情報等)	11
(1株当たり情報)	11
(重要な後発事象)	11

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルスの感染拡大による2020年4月及び2021年1月の2度の緊急事態宣言の発出に伴い、消費マインドの停滞、飲食業などにおける時短営業、イベント・旅行業やインバウンド需要の大幅な減退などにより大きく悪化しました。2022年2月期におきましても、コロナリスクは依然として残り、先行き不透明な状況が続くものと思われま

す。当社が属するアパレル業界においても、上半期は緊急事態宣言に伴うリアル店舗の営業自粛によって大きく業績を落としました。第3四半期は、日本政府の緊急経済対策等により消費マインドが徐々に高まり、業績は一時回復基調となりました。しかしながら第4四半期に入ると同時に新型コロナウイルスの感染拡大が顕著になり、1月には再度緊急事態宣言が発出されたため、厳しい状況となりました。

このような環境の中、当社グループは、コロナ禍における感染症対策として、店舗における除菌・感染防止シートの設置や日々の従業員の体調確認など適切な感染拡大防止対策を実施し、お客様と従業員の安全と健康を最優先しながら営業を継続してまいりました。

販売状況は、上期に営業自粛などの影響によって苦戦しましたが、9月以降は回復基調となり、上期から実施しましたeコマースチャネルへの投資加速と在庫の集約、百貨店の不振3ブランドの撤退とそれに伴う人材の最適化といった構造改革が功を奏し、第3四半期は営業利益におきまして前年同期比132.3%と大きく回復しました。

第4四半期においては緊急事態宣言が再発出されるなか、eコマースチャネルの売上が更に拡大しました。また、主力ブランドである「petit main」では、プティプラセットや、ミッフィーコラボ商品といった大ヒットアイテムが生み出され、「ANNA SUI mini」や「Lovetoxic」においては人気アニメのコラボ商品を発売したこと等によって、業績は回復し営業利益は前年同期比147.6%となりました。

当連結会計年度において大幅に躍進したeコマースチャネルは、視認性と利便性の向上を目標とし、自社サイトの改善改修に努めてまいりました。また、新サービスとして、クリック&コレクト(eコマース決済と店舗受取)、チャット接客(販売員によるリモート接客)、自社オンラインショップ専用アプリのリリースなどを導入し、新規会員数が増加したことで、事業基盤の強化にもつながりました。なお、現状の会員数は72万人と昨年対比147.6%となりました。

新規事業であるフォトスタジオの「LOVST BY NARUMIYA」においては、株式会社LOVST(ラブスト)の全株式を取得し、完全子会社化しました。当連結会計年度においては横浜店に続き、新たに2店舗出店し、株式会社LOVSTが運営していた2店舗を追加したことで、5店舗体制となりました。2022年2月期は引き続きフォトスタジオ事業の拡大を目指し、百貨店などへ出店してまいります。

当連結会計年度の出退店状況は、百貨店26店舗・ショッピングセンター12店舗・アウトレット1店舗を出店する一方、百貨店161店舗(注)、ショッピングセンター3店舗退店しました。

以上の結果、当連結会計年度の売上高は29,511百万円(前期比10.5%減)、営業利益は1,037百万円(同37.7%減)、経常利益は1,006百万円(同38.0%減)、親会社株主に帰属する当期純利益は396百万円(同60.3%減)となりました。

(注)百貨店の店舗数は、売場数×ブランド数で計算するため、出退店店舗数が多くなる傾向があります。なお、当連結会計年度における百貨店の退店のほとんどは、8月に実施したジュニア向け3ブランドの休止によるものであります。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べ416百万円減少し、8,164百万円となりました。これは主に、現預金が656百万円減少したこと及び受取手形及び売掛金が205百万円増加したことによりです。固定資産は、前連結会計年度末に比べ257百万円減少し、6,472百万円となりました。これは主に、リース資産の減少等により有形固定資産が117百万円減少したこと及びのれんの減少等により無形固定資産が147百万円減少したことによりです。これらの結果、当連結会計年度末の総資産は前連結会計年度末に比べ674百万円減少し、14,636百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べ74百万円減少し、5,582百万円となりました。これは主に、買掛金が154百万円増加したこと及び未払消費税が211百万円減少したことによりです。固定負債は、前連結会計年度末に比べ673百万円減少し、4,645百万円となりました。これは主に、長期借入金金が578百万円減少したことによりです。これらの結果、当連結会計年度末の負債は、前連結会計年度末に比べ747百万円減少し、10,228百万円となりました。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べ72百万円増加し、4,407百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する当期純利益の計上及び配当金の支払い等により利益剰余金が52百万円増加したことによりです。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ656百万円減少し、1,831百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりです。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当連結会計年度における営業活動の結果獲得した資金は、1,042百万円（前連結会計年度は2,319百万円の獲得）となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益777百万円の計上、減価償却費498百万円の計上及びのれん償却額225百万円等の資金の獲得と、法人税等の支払358百万円等の資金の支出によるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当連結会計年度における投資活動の結果支出した資金は、354百万円（前連結会計年度は822百万円の支出）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出122百万円及び差入保証金の差入による支出75百万円等の資金の支出によるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当連結会計年度における財務活動の結果支出した資金は、1,345百万円（前連結会計年度は856百万円の支出）となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出596百万円、リース債務の返済による支出404百万円及び配当金の支払額344百万円等の資金の支出によるものです。

(4) 今後の見通し

子供服事業を営む当社グループを取り巻く国内の経営環境は、新型コロナウイルスの感染拡大や少子高齢化など、厳しい状況が続くと思われます。とりわけ、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う外出自粛や、商業施設の臨時休業及び営業時間短縮などにより、消費者の購買行動が大きく変化するなかで、直営店舗を中心に来店客数の減少が予想されます。

よって当社グループは、eコマースへの投資と直営店舗の更なる構造改革、ヒット商品の創出、サプライチェーンのさらなる短縮化などにより、2022年2月期の連結業績予想は、連結売上高34,500百万円、営業利益1,720百万円とし上場以来の最高金額としております。

具体的には、eコマースチャネルにおいて、現状の受注数・出荷数の処理能力拡大と物流コストの削減を目指して、物流拠点の移管を行います。

従来の成長トリガーであったSC（ショッピングセンター）チャネルにおいては、今年度の出店は慎重を期し6店舗としております。まずは、既存店舗の売上回復に注力し、子供達の肌や環境にやさしい素材を積極的に扱い、新しい付加価値の創出に努めてまいります。また、SNSをより一層活用して、お客様へダイレクトに情報が届くような工夫を行ってまいります。

百貨店チャネルでは、SCブランドである「petit main」の出店などにより、業態ミックスを進めてまいります。

子供達や家族をターゲットとするフォトスタジオ事業LOVSTは、百貨店に出店することで、既存ブランド事業とのシナジーを高め、お客様の満足の向上を図ります。

当社グループは競合他社にはない、様々な販売チャネルを有しております。「ウィズコロナ」の環境下、選択と集中を徹底し、長期的かつ持続的に企業価値を高める取り組みを強化してまいります。今後とも成長を継続させ、ステークホルダーの皆様へ納得して頂けるように努めてまいります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、国際会計基準に基づく連結財務諸表を作成するための体制整備の負担等を考慮し、日本基準に基づき連結財務諸表を作成しております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年2月29日)	当連結会計年度 (2021年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,488,139	1,831,755
受取手形及び売掛金	2,607,970	2,813,646
商品	3,394,957	3,409,102
前払費用	46,507	68,311
その他	52,422	53,883
貸倒引当金	△9,177	△12,690
流動資産合計	8,580,819	8,164,008
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,418,972	1,375,313
減価償却累計額	△1,139,077	△1,104,705
建物及び構築物 (純額)	279,894	270,608
工具、器具及び備品	95,144	105,321
減価償却累計額	△67,829	△81,493
工具、器具及び備品 (純額)	27,315	23,828
土地	5,940	5,940
リース資産	2,260,522	2,495,350
減価償却累計額	△1,443,769	△1,782,933
リース資産 (純額)	816,753	712,417
有形固定資産合計	1,129,903	1,012,794
無形固定資産		
のれん	3,363,842	3,192,406
ソフトウェア	117,262	160,218
ソフトウェア仮勘定	—	7,550
リース資産	126,462	110,104
その他	10,686	606
無形固定資産合計	3,618,253	3,470,886
投資その他の資産		
投資有価証券	33,577	39,977
破産更生債権等	50,105	97,627
長期前払費用	24,919	17,969
差入保証金	1,195,355	1,168,137
繰延税金資産	487,899	466,312
その他	240,106	271,982
貸倒引当金	△50,105	△73,624
投資その他の資産合計	1,981,857	1,988,383
固定資産合計	6,730,014	6,472,063
資産合計	15,310,833	14,636,072

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年2月29日)	当連結会計年度 (2021年2月28日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,488,577	2,643,420
1年内返済予定の長期借入金	595,048	620,048
リース債務	383,364	357,779
未払金	583,959	663,882
未払費用	618,930	563,311
未払法人税等	417,298	417,683
未払消費税等	285,073	73,319
賞与引当金	101,183	88,907
返品調整引当金	11,573	10,255
ポイント引当金	64,260	74,476
その他	107,286	69,454
流動負債合計	5,656,555	5,582,539
固定負債		
長期借入金	4,404,870	3,826,446
リース債務	661,068	562,194
退職給付に係る負債	249,574	249,574
その他	3,755	7,755
固定負債合計	5,319,267	4,645,970
負債合計	10,975,822	10,228,509
純資産の部		
株主資本		
資本金	255,099	255,099
資本剰余金	1,860,774	1,860,774
利益剰余金	2,207,693	2,260,233
自己株式	—	△33
株主資本合計	4,323,567	4,376,073
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△9,280	1,442
退職給付に係る調整累計額	20,723	30,046
その他の包括利益累計額合計	11,443	31,489
純資産合計	4,335,011	4,407,562
負債純資産合計	15,310,833	14,636,072

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年3月1日 至 2020年2月29日)	当連結会計年度 (自 2020年3月1日 至 2021年2月28日)
売上高	32,962,986	29,511,752
売上原価	15,169,151	13,744,054
売上総利益	17,793,834	15,767,697
販売費及び一般管理費	16,128,954	14,730,484
営業利益	1,664,879	1,037,212
営業外収益		
受取利息	41	8
受取配当金	87	222
為替差益	—	509
保険解約返戻金	9,934	11,910
仕入割引	2,306	1,642
受取賃貸料	24,475	23,365
補助金収入	14,900	—
債務勘定整理益	20,768	39,031
雑収入	9,219	14,758
営業外収益合計	81,733	91,448
営業外費用		
支払利息	73,679	72,611
為替差損	563	—
支払手数料	9,200	10,000
賃貸費用	19,194	19,153
一部指定関連費用	11,740	—
雑損失	9,669	20,428
営業外費用合計	124,046	122,194
経常利益	1,622,566	1,006,466
特別利益		
助成金収入	—	291,150
特別利益合計	—	291,150
特別損失		
固定資産除却損	5,328	25,214
減損損失	15,991	23,008
投資有価証券評価損	—	9,501
臨時休業による損失	—	462,794
特別損失合計	21,320	520,518
税金等調整前当期純利益	1,601,246	777,098
法人税、住民税及び事業税	630,343	367,218
法人税等調整額	△28,128	13,165
法人税等合計	602,214	380,383
当期純利益	999,031	396,715
親会社株主に帰属する当期純利益	999,031	396,715

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年3月1日 至 2020年2月29日)	当連結会計年度 (自 2020年3月1日 至 2021年2月28日)
当期純利益	999,031	396,715
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△6,434	10,722
退職給付に係る調整額	45,867	9,323
その他の包括利益合計	39,433	20,045
包括利益	1,038,464	416,761
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	1,038,464	416,761
非支配株主に係る包括利益	—	—

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2019年3月1日 至 2020年2月29日)

(単位:千円)

	株主資本			
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本合計
当期首残高	218,307	1,823,982	1,515,773	3,558,063
当期変動額				
新株の発行	36,792	36,792		73,584
剰余金の配当			△307,111	△307,111
親会社株主に帰属する 当期純利益			999,031	999,031
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)				
当期変動額合計	36,792	36,792	691,920	765,504
当期末残高	255,099	1,860,774	2,207,693	4,323,567

	その他の包括利益累計額			新株予約権	純資産合計
	その他有価証券評価 差額金	退職給付に係る調整 累計額	その他の包括利益累 計額合計		
当期首残高	△2,845	△25,143	△27,989	1,440	3,531,513
当期変動額					
新株の発行					73,584
剰余金の配当					△307,111
親会社株主に帰属する 当期純利益					999,031
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	△6,434	45,867	39,433	△1,440	37,993
当期変動額合計	△6,434	45,867	39,433	△1,440	803,497
当期末残高	△9,280	20,723	11,443	—	4,335,011

当連結会計年度(自 2020年3月1日 至 2021年2月28日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	255,099	1,860,774	2,207,693	—	4,323,567
当期変動額					
剰余金の配当			△344,176		△344,176
親会社株主に帰属する 当期純利益			396,715		396,715
自己株式の取得				△33	△33
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	0	0	52,539	△33	52,505
当期末残高	255,099	1,860,774	2,260,233	△33	4,376,073

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他有価証券評価 差額金	退職給付に係る調整 累計額	その他の包括利益累 計額合計	
当期首残高	△9,280	20,723	11,443	4,335,011
当期変動額				
剰余金の配当				△344,176
親会社株主に帰属する 当期純利益				396,715
自己株式の取得				△33
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	10,722	9,323	20,045	20,045
当期変動額合計	10,722	9,323	20,045	72,551
当期末残高	1,442	30,046	31,489	4,407,562

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年3月1日 至 2020年2月29日)	当連結会計年度 (自 2020年3月1日 至 2021年2月28日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	1,601,246	777,098
減価償却費	517,071	498,563
差入保証金償却額	91,732	83,957
のれん償却額	223,808	225,497
助成金収入	—	△291,150
固定資産除却損	5,328	25,214
減損損失	15,991	23,008
投資有価証券評価損益 (△は益)	—	9,501
臨時休業による損失	—	462,794
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	10,573	27,032
賞与引当金の増減額 (△は減少)	10,369	△12,275
返品調整引当金の増減額 (△は減少)	△1,241	△1,317
ポイント引当金の増減額 (△は減少)	18,552	10,216
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	37,368	13,437
受取利息及び受取配当金	△128	△230
支払利息	73,679	72,611
売上債権の増減額 (△は増加)	△270,565	△254,402
たな卸資産の増減額 (△は増加)	506,985	△12,264
仕入債務の増減額 (△は減少)	△247,162	154,843
未払金の増減額 (△は減少)	—	211,324
未払費用の増減額 (△は減少)	215,874	△186,867
未払消費税等の増減額 (△は減少)	216,526	△213,166
その他	△86,835	20,543
小計	2,939,176	1,643,970
利息及び配当金の受取額	128	230
利息の支払額	△69,893	△71,695
法人税等の支払額	△549,548	△358,108
助成金の受取額	—	291,150
臨時休業による支払額	—	△462,794
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,319,863	1,042,753
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	22,381	—
有形固定資産の取得による支出	△266,606	△122,101
無形固定資産の取得による支出	△83,830	△70,550
投資有価証券の取得による支出	△1,198	△872
出資金の払込による支出	—	△31,707
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△234,852	△15,539
保険積立金の積立による支出	△31,899	△28,814
保険積立金の払戻による収入	—	16,504
差入保証金の差入による支出	△208,281	△75,879
差入保証金の回収による収入	3,783	21,293
その他	△21,848	△46,689
投資活動によるキャッシュ・フロー	△822,354	△354,356
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	620,000	—
長期借入金の返済による支出	△871,232	△596,290
リース債務の返済による支出	△370,176	△404,600
自己株式の取得による支出	—	△33
配当金の支払額	△307,111	△344,176
新株予約権の行使による株式の発行による収入	72,144	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△856,376	△1,345,100
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	641,132	△656,704
現金及び現金同等物の期首残高	1,847,006	2,488,139
現金及び現金同等物の期末残高	2,488,139	1,831,435

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前連結会計年度 (自 2019年3月1日 至 2020年2月29日)

当社グループはベビー・子供服の企画販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

当連結会計年度 (自 2020年3月1日 至 2021年2月28日)

当社グループはベビー・子供服の企画販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2019年3月1日 至 2020年2月29日)	当連結会計年度 (自 2020年3月1日 至 2021年2月28日)
1株当たり純資産額	428.24円	435.40円
1株当たり当期純利益	99.29円	39.19円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	－円	－円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2019年3月1日 至 2020年2月29日)	当連結会計年度 (自 2020年3月1日 至 2021年2月28日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益 (千円)	999,031	396,715
普通株主に帰属しない金額 (千円)	－	－
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益 (千円)	999,031	396,715
普通株式の期中平均株式数 (株)	10,060,821	10,122,827

(重要な後発事象)

該当事項はありません。